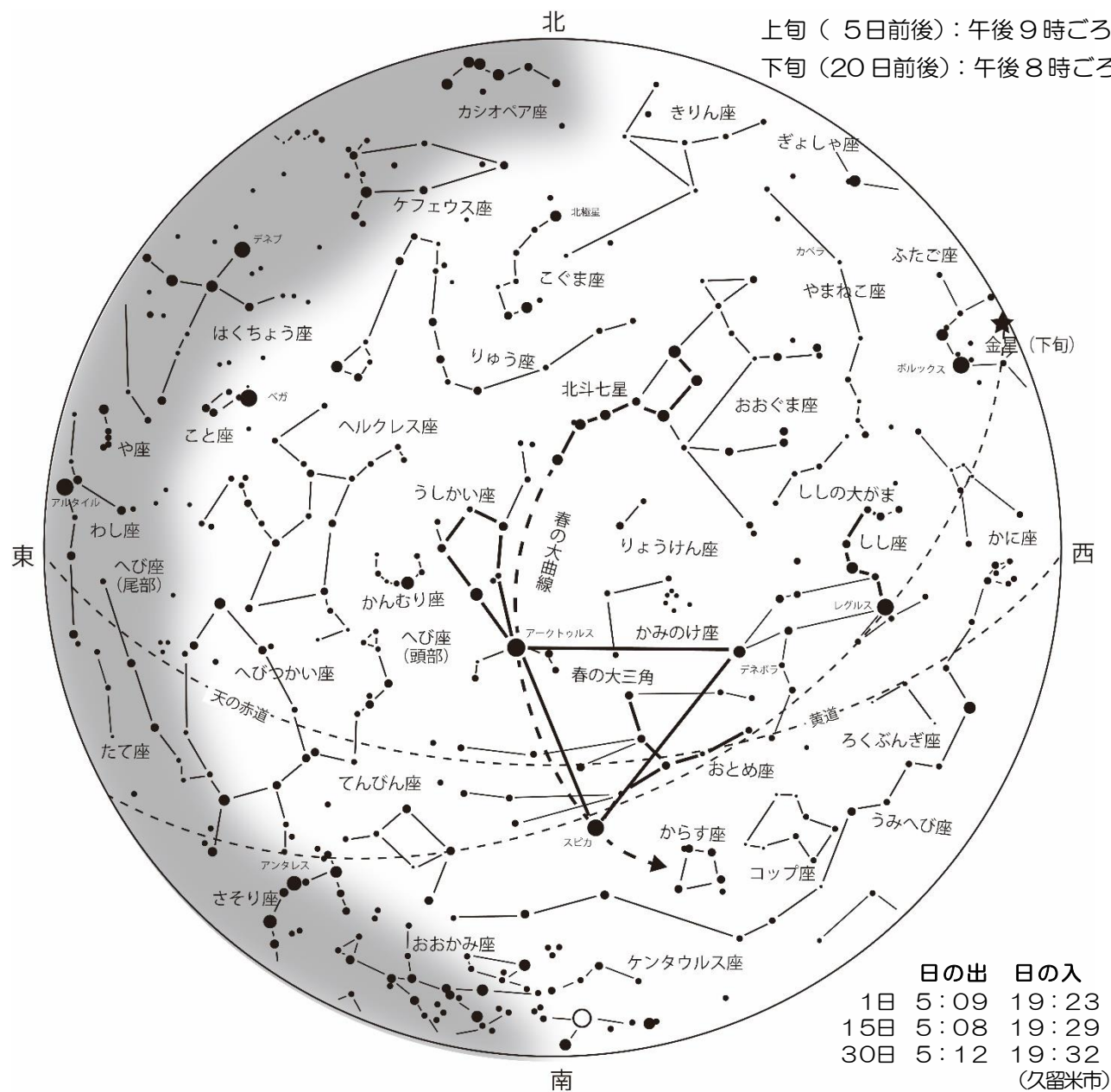


令和6年 6月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★6月の星空案内

衣替えの時期を迎え、道行く人々の装いにも夏らしさを感じられるようになりましたが、星空ではまだまだ春の星座たちが輝いています。春の星座たちを見つけるには、まず北の空で7つの星を結んでできる「スプーン」のような星の並び“北斗七星”を見つけましょう。北斗七星をスプーンに見立てた時、持ち手の部分のカーブを南へのぼしていくと、オレンジ色に輝くうしかい座の1等星アークトゥルスや白く輝くおとめ座の1等星スピカを見つけることができます。うしかい座は「ネクタイ」のような星の並び、おとめ座は「アルファベットのyの字」のような星の並びが目印です。北斗七星からアークトゥルスを通り、スピカまでのぼしたカーブを『春の大曲線』といいます。また、アークトゥルスとスピカ、そして2等星のデネボラを結んでできる三角形を『春の大三角』といいます。デネボラには“ししのしっぽ”という意味があり、ここにはしし座を見つけることができます。一等星レグルスからのびる「?マーク」を裏返したような星の並び、『ししの大がま』を目印にして、しし座を見つけるとよいでしょう。

6月は梅雨に入り、雨やくもりのことが多く、なかなか美しい星空に出会うことができませんが、梅雨の晴れ間には『春の大曲線』と『春の大三角』を目印に春の星座たちを探してみてください。

【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- 水星 (1.0等前後): おうし座→ふたご座付近 観望に適さない。(外合15日)
- 金星 (-3.9等前後): おうし座→ふたご座付近 観望に適さない。(外合5日)
- ☆火星 (1.1等前後): うお座→おひつじ座付近 日の出前、東の低空で輝く。
- ☆木星 (-2.0等前後): おうし座付近 日の出前、東の低空で輝く。(下旬)
- ☆土星 (1.1等前後): みずがめ座付近 日の出前、南東の空で輝く。

注目の天文現象(6月)～惑星(火星・土星)と月の共演を楽しもう～

6月は、日の出前の東から南東の空にかけて火星と土星を見ることができます。

6月3日の午前4時ごろには、東の空で月が火星に接近します。赤く輝く火星(1.0等)と、新月になる前の月齢25.6の細い月が並びます。地球照(月の暗くなっている部分が、地球が反射した太陽の光によって照らされて、うっすらと見える現象)も一緒に観察してみてください。

また、6月28日の未明から明け方には、月が土星に接近している様子を見ることができます。ほぼ半月状の月に土星(1.0等)が寄り添う様子は目をひく眺めとなるでしょう。

ぜひ月に負けずに光を放つ土星をご覧ください。晴れることを祈っています☆

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
6	木	● 新月 (21:38)	22	土	○ 満月 (10:08)
14	金	◐ 上弦 (14:18)	29	土	◑ 下弦 (06:53)
21	金	夏至 (久留米市の日の出 05:09 日の入り 19:31)			